

第13回「広島・上海ネットワーク協議会」

西尾 麻里

11月16日、当上海事務所が主催する「広島・上海ネットワーク協議会」を上海市内の飲食店で開催しました。同協議会は、中国に進出した広島県企業に有益なビジネス情報の収集や意見交換、企業同士の懇親を目的として、年1回の頻度で開催しています。今回は8社9名のご参加をいただき、とても有意義な交流を持つことができました。

<セミナー「現地リスクへの対策」>

同協議会は、セミナーと懇親会の2部構成で進行します。セミナーでは、「上海ウェルビー医療諮詢有限公司」の倪曉婷様、瞿懿様を講師にお迎えし、「事故例を参考とした現地リスクと生活習慣病への対策」と題して、講演いただきました。同社は、海外における駐在員の事故や病気に対する予防や緊急対応等の総合リスクマネジメント会社として、グローバルに進出している日系企業をサポートしています。

講演は事故例を元に構成されていましたが「出張が多い」、「飲酒・外食の機会が多い」、「運動する機会が少ない」、「ストレスが大きい」といった、誰もが身に覚えのある状況に起因する危機事例ばかり。きっと緊張感を持って聞いていた人も多かったのではないのでしょうか。日本と中国の救急車事情や、医療機関の違いなどが分かりやすく説明していただきました。また、上海市内の各病院の紹介まであり、これからの上海生活でもたいへん役立つ情報が盛り沢山でした。

<意見交換会>

セミナー終了後は、セミナー内容に基づいた意見交換が活発に交わされました。具体的な質問内容としては、「保険会社との契約内容について」、「上海市とその他都市との医療サービス体制の違いについて」「現地で亡くなった際の遺体搬送にかかる時間」など、身近な話題であるからこそ踏み込んだ質疑応答がなされました。また、講師である「上海ウェルビー医療諮詢有限公司」のサービスを実際に利用している出席者が、自身の経験を基に同社の業務をさらに詳しく紹介する場面も見られ、白熱した時間となりました。

<懇親会>

セミナー及び意見交換会のあとは、席を移して懇親会を開催しました。講師を囲んだ席では、セミナー内容を深く掘り下げる話題で盛り上がり、別の席では上海や中国の経済について話し込む出席者が見られ、また別の席では故郷・広島の話に華を咲かせ、その場で同窓であることが分かるなど、様々な話題で盛り上がりました。

広島・上海ネットワーク協議会は不定期開催で、その時期に応じた最新のテーマを掲げてこのような交流の場を設けております。上海の駐在者だけでなく、他地域からの参加、もちろん、日本から参加いただくことも大歓迎です。中国へ事業展開している広島県企業からの情報収集の場として、ぜひともご利用ください。

